

令和7年度 第Ⅰ期 実習報告書のまとめ

山梨県薬剤師会
薬学生受入対策委員会

① 感想

- 学生の実習への姿勢や態度など全く問題ありませんでした。1日目から服薬指導を行うことができ、大学でしっかりと事前学習をしてきているなと感じました。充実した11週が過ぎたと思います。
- 今回も関連書籍や業務マニュアル等を参考にしてできるだけ最新の情報で指導にあたることを心がけました。行き届かない点も多かったかと思いますが、なんとか実習を終えることができたのも指導薬剤師だけでなく、パート・正社薬剤師に関係なく職員全体で学生に関わった結果だと思っています。今回も普段、意識することのない法令や届出事項等、業務のひとつひとつを見直すことができ自分自身の薬局管理・薬剤師業務に対する勉強になりました。
- 様々な業務に一生懸命に取り組んでくれた学生でした。
- きてくれた学生さんが積極的に実習に参加してくれたのでこちらもやりやすかった。基幹や体調不良を訴えることもなく、実習を終えることが出来て良かった。
- 今年の学生も基礎学力がしっかりついていました。今年の学生は良く言えば真面目、悪く言えば生真面目な学生さんでした。安全管理という点で今までの学生より長けていて現場で働いている薬剤師より安全管理に関する志が高い学生でした。ここが惜しいという点は、実習後半になるにつれどうなるかみていましたが、学生さん自身で実習を始める前の期間や実習内の一時的に空いた時間を指導薬剤師に言われる前に、今何が必要で何ができるのかを考えて行動実践提案ができなかった点でした。あと、優先順位をつけることが苦手の一つのことにこだわりが強い学生で1日の実習時間の時間配分の調整が指導者側も大変でした。最後に、実習2週目に学生がcovid19に感染した際、大学は担当教員と薬局の連携がとてもよく学生さんの休みの取らせ方や課題提出などうまく連携ができたと思います。
- 出来ないことははっきりできないという学生だったので、無理はさせないように指導していました。実習後半になるにつれ、できないということはあまり言わなくなり、全体を通じてできるようになっていました。おそらく緊張や慣れなどもあったかと思っています。調剤や服薬指導を通じて成長している姿が見ることができ、今回も指導に関われてよかったと感じました。
- 毎年学生を受け入れている中で、学生のレベルが毎年上がっていると感じた。その分教えることも高度になっており、自分自身のアップデートが必要だと感じた。
- 大学の担当教諭も直接薬局に数回来ていただき、話ができて良かったと思う。Eメールでのやりとりもスムーズだった。協力薬局も快く、実習補助を了承していただけた。私自身も指導することを通じて、成長できたと思います。積極的に実習に取り組んでいたと思います。言動にちょっと問題がある面もありましたが、学ぶ姿勢はとても良かったと思います。

② 問題点と今後の課題

- 自宅から薬局までの距離が遠く雪の影響や交通渋滞の影響で実習を中止したり、遅刻してしまったりしたことがありました。距離が遠すぎるのは学生に対して負担になると感じました。

- 実習期間中比較的処方箋枚数が少なく一つ一つの処方に時間をかけて扱うことができました。調剤業務課に関しては、今までは実習生ということもあり、すべての処方を一人で調剤することが難しい現状がありましたが、今回は粉碎、脱力ブセルなどすべての難易度の高い処方についても一人で正確に調剤できるようになりました。監査業務に関しても時間をかけることができ、監査から投薬を一連の流れで数多く行うことができ、より実践的に行えたように思います。OTC販売に関して自薬局でも取り扱っておりますが、販売数が少ないため十分に対応できませんので、今回協力薬局に依頼し対応しました。
- 今回は遠方から1時間以上かけて通ってきた為、駅から離れた協力薬局への依頼が出来なかった。雪など天候によって電車が遅延してしまうなどこの時期のトラブルが多少あった。
- 精神科の門前のため、服薬指導の偏りがひき続きの課題。門前以外の処方せんが来たら、優先して服薬指導に行ってもらおうようにしていた。
- 今年の学生が実習2週目にcovid19に感染したことでその後、薬局内職員や来局されていた患者さん達の感染はなかったが、実習中の学生や職員含め健康管理をしっかり観察しなければと思いました。また、今年の学生さんは優先順位をつけるのがうまくできず、その学生に対して優先順位のつけ方を誘導指導することが不十分だったと思うので、指導薬剤師として何がこの学生に足りないかそれをどうやって高めるように誘導できるように指導できればと思いました。
- スタッフとのコミュニケーションを含め、なじめる雰囲気作りをすればもう少し早く緊張も取れたのかなと思いました。麻薬の服薬指導を行う機会が少なかったため、次回は意識して学ばせる必要があると思いました。
- 上述の通り、自分自身の能力向上が課題。
- コミュニケーション能力の質の向上、通うのに片道1時間30分以上かかっている。本人の第1希望であったため、大学も承知の上であると思うが、時間調整にやや苦労した。

③ 問題点・課題の改善点

- Ⅰ期はまだ雪が降る可能性があるので、多くの薬局に受け入れをお願いしていただき、遠すぎない薬局を選択できるようにして欲しいです。
- 指導にあたり、最新の情報を持つての指導が必要と考え、「薬局実務実習の手引き2018版」を参考にして行おうと思いますが、他にお勧めの書籍等があれば、教えていただきたいです。自薬局で実習困難な内容は他地域薬剤師の協力に対応できました。理想は一薬局で完結することですが、人員が不足する薬局が今後も増えてくることが予想されます。地域を越えた協力体制が有効と考えます。
- 今回は集合研修の予定変更をと検査センターの連絡もれがあったので、スケジュールの見直しが必要になった点。
- 毎年の事だが、一人薬剤師店舗の小規模薬局で実習生を指導サポートできる薬剤師が店内に自身しかいない。またグループ薬局に指導薬剤師が自身しかいないのでとても大変。様々な状況が重なり、正直なところ自身のボランティア感が半端ない。こういう積み重ねが雇われ薬剤師が実務指導薬剤師になりたがらなかったり、すでに指導薬剤師有資格者が受け入れをしたくない雇われ薬剤師が増えていく原因なのだなと思います。正直モチベーションが保ちにくいのが今の現状です。ただ良い面もあり指導薬剤師の判断で自由に学生実習をさせて

いただいている所は良いところです。今後できれば、調整機構などでもう少し受け入れ薬局の雇われ指導薬剤師達がモチベーションを保てるような配慮や何かしら取り決めを作っていただきたいと正直思う。

- 日誌の書き方について途中から指摘するようになり、どのようなことを書けばいいのか迷っていることがありました。あらかじめどのような構成で日誌を記載するのか大学側が決めておいてほしかったです。
- 今回の学生はモバイルファーマシー見学が好評だったようなので継続してほしい。
- 患者様や他者との会話をかさねコミュニケーションを取り、情報を共有する。

④ 協力薬局の感想・問題点と改善策

- 協力薬局は在宅を中心に数回お願いしました。実習生は有意義な時間となったと言っていました。集合研修については、とても楽しく参加できたようです。今後も継続していただけたらと思います。
- 今回も薬局製剤・漢方製剤・OTC販売など当薬局で実施不十分な内容を協力薬局の先生方に行っていただき大変感謝しております。今回も地域内での対応が難しく、他地域の薬局さんに協力をお願いしました。在宅、学校薬剤師業務など状況によっては、地域内での対応が難しくなることが考えられるため、今後も地域を越えた協力体制が必要です。
- 今年も特に協力薬局もなく自身の薬局で完結できた。
- 協力薬局の研修が講義中心だったと聞きました。学生本人は漢方を実際調剤してみたかったとおっしゃっており、研修の場であるためそちらも多少は調剤したものだと思っていましたが、漢方には触れていなかったとの事でした。改善できるようであれば改善をお願いしたい。
- 実際に協力してもらう直前に連絡を取り合い充実した実習になった。

実習生アンケート

長期実務実習 第I期(令和7年2月14日～5月4日) 10施設10名

アンケート提出者8名

病院実習 未:8 済:0

①今回の実習はあなたのニーズにマッチしましたか？

最低 1	2	中程度 3	4	最高 5
			1	7

未記入:

②指導薬剤師から受けた指導時間についてどうでしたか？

物足りない 1	2	中程度 3	4	充分 5
				8

未記入:

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

なし	あり	未記入
3	5	

④自分で思い描く薬剤師像と実際の薬剤師像とマッチしていましたか？

かけ離れていた 1	2	中程度 3	4	合っていた 5
		1	1	5

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

なし	あり	未記入	その他
7	1		

⑥主に実習を受けた薬局の指導薬剤師の対応はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
				8

⑦今回実習を行った他の薬局等での実習はどうでしたか？

悪かった 1	2	中程度 3	4	良かった 5
			3	5

⑧今回の実習が今後(在学中、卒業後)に役立つと思いますか？

役立たない 1	2	中程度 3	4	役立つ 5
				8

コメント部分について

③大学での事前学習・講義などと実習での相違点はありましたか？

＜あり＞ 5名

OSCEでは、患者さんへのききとり等がかなり時間をとりましたが、現実的でない部分もあり、そこを問診表などで簡略化されていた点

服薬指導の仕方。大学ではマニュアル通りに行っていた。

広義では作用機序や用法用量についてが多かったが特に小児へは味についてのアプローチが重要なこと

臨床の現場で生かせる知識はかなり高度なものであり、講義内容だけでなく実践があって初めて使える知識になると感じた。

OSCEの対策とは少し異なり、調剤ミスの防止システムなどもあり薬局ごと調剤の仕方也有些違った。

⑤今回の実習を終えて、卒後の進路希望について変化はありましたか？

＜あり＞ 1名

＜なし＞ 7名

病院 ⇒ 病院 病院 ⇒ 薬局

MP以外 ⇒ MP以外

製薬会社 ⇒ 製薬会社

⑨今後の実習をより良いものにするためにお聞きます。

・実習では担当してくださった指導薬剤師さんをはじめ、他の薬剤師さん事務さん薬局の方々に大変丁寧に優しく教えていただきました。私自身、知識がかなりおしくその部分においてもご迷惑をおかけしたと思います。そんな私にも嫌な顔せず優しく、丁寧に対応や知識等を教えてくださいました。大変感謝しております。世間話など気軽に話しかけていただいたり大変楽しく実習することができました。

・大学では体験できない服薬指導や居宅訪問を経験できた。卸さんや行政の見学をすることで進路の選択肢を増やすことができた。

・実際に調剤薬局での業務を経験してやりがいや楽しさを感じ、今まで以上に薬について学びたくなりました。服薬指導や在宅医療をたくさん経験できたのが良かったです。

・当薬局での実習は非常に良かったです。薬局内のコミュニケーションは非常に円滑で良好な人間関係が築かれており、安心して実習に臨むことができました。精神科の門前薬局ということで最初は漠然とした不安がありましたが、指導薬剤師の先生が服薬指導が可能な患者様を配慮してくださったこともあり、安心して対応することができました。外来が混みあう中でも休憩時間を設けていただき、心身ともに余裕をもって実習に取り組むことができました。また、知識が精神科に偏りすぎないようにご配慮いただき、同グループ内の別の薬局でも実習の機会を設けていただきました。そこでは血液関連の薬やハイリスク薬等の服薬指導を経験させていただき、大変貴重な学びとなりました。

・集合研修で普段見られないところを見学できたことが良かった。甲府市での集合研修と重なり集合研修がかなり密集する時期があったため、もう少し日程を考慮してほしい。

・薬局だけでなく行政などの薬剤師が何をしているか知ることができ良かった。

・指導薬剤師のみならず、様々な薬剤師の方から多くのことを教えて頂けたことが良かった。また、往診同行の見学や他店舗見学などの貴重な体験ができたことは非常に良かったと感じた。県庁の見学やモバイルファーマシーの見学は県単位で実習に協力して頂き、私たちに学びの場を与えてくれたと思うのでとてもありがたいと感じた。全体を通じて非常に充実した実習を行うことができたと思う。

・実習先の先生方がどの方も優しく教えて下さり、とても充実した3ヶ月になりました。処方箋を受付てから薬のお渡しまでの流れや調剤の仕方について、在宅医療でお世話になった薬局、山梨市の実習先と薬局を交換し、3つの薬局で比較でき、工夫など学ぶことができました。OTCや県庁での集合研修は他の実習性も一緒に、交流し意見交換する機会になり、嬉しかったです。この3ヶ月で大きく成長できたと感じる事ができ、関わって頂いた方にとても感謝しています。